

# 令和7年度（後期）山形県立米沢女子短期大学 聴講生募集

聴講生は、学生と同じ講義を受講することができ、単位認定を必要としない方や教養を高めたい方が学ぶことができる制度です。

- 1 開講科目 令和7年度（後期）「聴講生」開講科目一覧のとおり
- 2 聴講期間 後期授業 令和7年9月29日（月）～令和8年1月26日（月）
- 3 聴講資格 次のいずれかに該当する者とする。

- ①学校教育法（昭和22年法律第26号）による高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ②通常課程により、12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在学教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第3号に規定する者
- ⑥学校教育法施行規則第150条第4号に規定する文部科学大臣の指定した者
- ⑦高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号。以下「試験規則」という。）に基づく高等学校卒業程度認定試験に合格した者（試験規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧相当の年齢に達した者で、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

## 4 申込手続

(1) 申込期間 令和7年8月1日（金）から8月15日（金）まで（必着）

### (2) 申込書類

- ①聴講申込書（別記様式第1号）
- ②履歴書（6か月以内撮影の写真付き）
- ③誓約書
- ④健康診断書（写し）

(3) 申込方法 聴講を希望する者は、申込書類について郵送又は持参により提出してください。

5 選考方法 書類審査又は面接で行います。

6 授業料等 授業料は、1単位につき5,000円です。  
(1科目2単位の講義を受講すると、10,000円になります。)

## 7 その他

聴講決定された者であっても、以下に該当する場合は聴講の決定を取り消すことがあります。

- ①本学の学生にとって不利益な行動が認められる者
- ②聴講態度不良で改善の見込みがないと認められる者
- ③本学の秩序を乱し、聴講生としてふさわしくない行為が認められる者

## 8 問い合わせ先・書類の提出先

〒992-0025 山形県米沢市通町6丁目15番1号

山形県立米沢女子短期大学 生活文化研究所事務局（附属図書館）

TEL : 0238-22-7334 e-mail : [tosho@yone.ac.jp](mailto:tosho@yone.ac.jp)

令和7年度（後期）聴講生 開講科目一覧

学科名	開講	開講科目名	授業のテーマ／到達目標・授業概要等	授業形態	担当教員	曜日	時間	単位数	受入人数	聴講の条件等
国語国文学科	後期	日本語運用スキルアップゼミ	○この授業のテーマは、日本語のスキルをレベルアップすることである。 ○到達目標 ①文字や記号、書式、文体など基礎的事項を理解する。 ②曖昧な表現を避け、自分の意思を受け手に正しく伝えることができる。 ③自分の考えを根拠をもって論理的に文章にすることができる。	演習	小峰 克之 准教授	月	2 限 (10:30～12:00)	2	若干名	
英語英文学科	後期	基礎英語表現Ⅱ	○様々な話題について目的、場面、状況に応じて話したり書いたりすることができ、言語活動の複数の領域を統合した活動を行うこと、CEFR-B2以上を目標にする。	演習	阿部 隆夫 教授	火	3 限 (13:00～14:30)	2	2名	テキストの購入
	後期	リスニングⅠ	○就職や留学の際に必須となるTOEIC (pt. 4) とTOEFLの聞き取りの得点を上げる。 ○北アメリカの英語とヨーロッパの英語との両方が聞こえるようにすること。	演習	阿部 隆夫 教授	金	2 限 (10:30～12:00)	2	5名	テキストの購入
	後期	英文法Ⅱ	○英語圏で文法を学習するように、英語のままの文法用語で理解し、文法の説明ができるようになること。	演習	阿部 隆夫 教授	月	2 限 (10:30～12:00)	2	5名	テキストの購入
	後期	イギリス文学作品研究	○3つの文学ジャンル（詩、演劇、小説）を読むことを通して文学テキストを多様なコンテキストから解釈する方法を学び、イギリスの思想、歴史、文化についての基本的な理解を深め記述できる。 ○イギリス文学において使用されている様々な英語表現について理解し、記述できる。 ○イギリス文学で描かれている国・地域の文化について理解し、記述できる。 ○代表的なイギリス文学について理解し、記述できる。	講義・演習	小林 亜希 准教授	木	2 限 (10:30～12:00)	2	若干名	
日本史学科	後期	日本史概説4	○自ら問題意識を持ち、日本近現代史の諸問題について考え、それを現代社会の諸問題と関連付けて検討できるようになること。	講義	布施 賢治 教授	水	5 限 (16:20～17:50)	2	若干名	
	後期	国際交流史	○日本の開国とその影響について講述し、19世紀日本をとりまいていた国際的環境を理解する。	講義	布施 賢治 教授	金	3 限 (13:00～14:30)	2	若干名	
	後期	日本文化史概説	○本授業の目的は3つある。第1に、歴史に親しんでもらうこと、第2に、文化史とはいかなる学問なのか知ってもらうこと。第3に、自分たちが生まれた「日本列島」（「日本」とは限らない）がいかなる歴史を歩んできたかを認識してもらうこと、またはその手がかりを与えることである。 ○本授業ではあまり時代にこだわらず、現代社会とつながる問題意識で多角的な歴史像を紹介したい。歴史学は記憶の学問ではない。考える学問である。ひとつの具体的事実が、どのような社会的背景から引き起こされたのか、私の力の及ぶ限り説明していきたい。	講義	原 淳一郎 教授	水	1 限 (8:50～10:20)	2	若干名	